

安心して暮らし続けられる“住まい”を

グループホーム
 メゾン杉の子(仮称)
 建設始まる



<完成予想図>

新たなグループホーム「(仮称)メゾン杉の子」の建築に向けて

「社会福祉法人いたみ杉の子」では、令和2年度の国県の社会福祉施設等施設整備費の補助を受け、オリジナルのグループホーム「(仮称)メゾン杉の子」の建築します。このホームは、これまで運営していましたグループホーム「さにい」(定員7名)を全面的に改築し、新たに5名定員の2つのグループホーム加えた3ホーム合築のグループホームとなります。さらに、1階部分には、相談事業所と通所事業所「ゆうゆう(就労継続支援B型)」のお菓子づくり工房(災害時の避難スペース。通常は、地域交流スペースとして使用)を併設します。

「いたみ杉の子」では、障がいの重度化や家族の高齢化等が進む近年の状況を踏まえ、障がいのある人が安心して住み慣れた地域で暮らし続けるには、障がい状況に応じた構造の“住まい”が必要との観点から、2019年度に「ガーデンハイツ杉の子(3ホーム合築)」を開所し、今回のホームは2つ目のオリジナルのグループホームとなります。

「いたみ杉の子」においては、現在、この建築費用の一部(補助対象外経費)への協力(ご寄付)を募集しています。知的に障がいのある人の“親なき後”も安心して暮らせる“住まいづくり”の推進にご理解をいただきご協力をよろしくお願い致します。

ご寄付の申込先:社会福祉法人いたみ杉の子事務局(電話 072-777-7486)

contents(目次)

- P2・3…新体制スタート、法人事業所紹介
- P4・5…いたみ杉の子で働きませんか?
- P6…令和2年度決算概要
- P7…地域貢献事業～発達支援連携室の紹介
- P8…インフォメーション

<表紙イメージ> 新たなグループホーム「(仮称)メゾン杉の子」の完成予想図です。利用者の暮らしとともに、地域での生活、地域との交流も大切に建設が進んでいます。

いたみ杉の子 理事会・評議員会新体制スタート!

理事長再任のご挨拶

このたび「社会福祉法人いたみ杉の子」第14期理事長に再任されました小山です。前期に引き続きよろしくお祈りします。

さて、本法人においては、いよいよ来年3月に法人設立25周年を迎えます。すでに、ご案内のとおり本法人は、知的発達障がいの子を持つ保護者組織である「伊丹市手をつなぐ育成会」が母体となり、伊丹市の協力のもとに設立された法人です。これまで、本法人においては、通所事業所「ゆうゆう」の開設に始まり入所施設や相談支援事業など障がいのある人の包括的な支援体制の実現に向けて事業を展開してまいりました。特に、最近では利用者の高齢化や重度化に対応するため、障がい状況に適したオリジナルのグループホームの開設や知的発達障がいのある人の社会参加や就労支援を他機関と連携して行うための「発達支援連携室」を設置するなどライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を重点方針としているところです。

今後も、本法人においては、伊丹市の障害福祉施策の根本を担う社会福祉法人として伊丹市を始め各関係機関と連携して時代のニーズに応じた事業展開を進めていく所存ですので、より一層のご支援ご協力をお願いし、理事長再任のご挨拶とさせていただきます。



2021年6月24日
社会福祉法人いたみ杉の子
理事長 小山 達也

2021年度組織体制図



社会福祉法人いたみ杉の子・役員改選

理事・監事

理事長	小山 達也	伊丹市手をつなぐ育成会・副理事長
業務執行理事	奥田 利男	前・伊丹市社会福祉事業団・理事長
理事	下村 直美	伊丹市手をつなぐ育成会・理事長
理事	進藤 啓	伊丹市医師会・医師
理事	行澤 睦雄	伊丹市社会福祉協議会・会長
理事	阪上 昭次	伊丹市社会福祉事業団・理事長
理事	村山 俊宇	いたみ杉の子・法人本部長兼事務長
監事	迫田 博幸	司法書士
監事	川上 實	税理士

任期: 2021年度定時評議員会から2023年度定時評議員会まで(2年間)

評議員

評議員	片山 亜由美	伊丹市手をつなぐ育成会・理事
評議員	松山 豊	鴻池小学校区社会福祉協議会・地区長
評議員	山村 寛子	伊丹市民生委員児童委員連合会
評議員	横井 俊明	アネモネこどもクリニック院長・医師
評議員	松島 正	伊丹市歯科医師会・理事
評議員	田中 賢一	春名・田中・細川法律事務所・シニアパートナー
評議員	橋村 正人	橋村登記測量事務所代表・司法書士
評議員	源野 直子	オフィス・アピア代表・社会保険労務士

任期: 2021年度定時評議員会から2025年度定時評議員会まで(4年間)



ゆうゆう

生活介護、就労継続支援B型を行う多機能型事業所です。クッキー・石鹸などの自主製品の製造販売をはじめ、喫茶営業や企業内作業など様々なはたらき方を提供するとともに日常生活・余暇・社会生活の支援もおこなっています。



フォーゆう

生活介護事業として生産活動(押し花・軽作業)、創作活動(音楽・芸術・習字・調理)、健康維持活動(ローバレー)、地域での外勤活動、また、余暇活動を通して笑顔あふれる時間を過ごしています。



ウォークゆう

伊丹市内で7か所のグループホームを運営しています。2019年には、集約型ホーム「ガーデンハイツ杉の子」を開設し、それぞれの場所で楽しく家庭的な雰囲気の生活を送っています。また、休日にはホームでのお菓子作りや余暇外出等、地域の中でのより充実した暮らしづくりを進めています。



ホープゆう

開所して4年目を迎え、開設当初から利用者さんの年齢や特性に合わせたゆっくりとした時間を大切にしています。紙漉きや畑、運動や芸術・調理などを、近隣の施設やボランティアさんなど地域との交流も大切に行っています。「笑って・健康・自分達のペースで・いくつになってもチャレンジ!」な生活介護事業所です。



ライフゆう

施設入所と短期入所を行っています。入所では、地域での生活をイメージして自立度を高める支援を行っています。週末の余暇活動や、季節に合わせたイベントなど、日々の生活の充実と潤いづくりを進めています。短期入所では緊急時やレスパイト等の受け入れを行っています。



ウィズゆう・リーフゆう

「ウィズゆう」は、18歳以上で障害者福祉サービスの利用を希望する人やどこに相談をしたらよいのか分からないこと等を相談いただける相談事業所です。「リーフゆう」は、18歳未満の方で障害福祉サービスの利用を希望する人を対象とした相談事業所です。大切な成長期に寄り添えるような相談業務を行っています。「夢は大きく、一歩ずつ」まずはお気軽にご相談ください。



シーズゆう

小学校1年生から高校3年生までの児童・生徒を対象にした「放課後等デイサービス事業」と、こどもが集団の場で生活しやすくなるように保護者や担当の先生と一緒に支援の方法を考えていく「保育所等訪問支援事業」に取り組んでいます。「様々な個性を持つ子ども達の毎日が輝きますように」というモットーを意識しながらスタッフ一同日々元気に励んでいます。



発達支援連携室

障害児等療育支援事業(県委託)を中心に、障害の有無や年齢を問わず様々な相談に応じています。地域に呼びかけての公開研修、親と支援者が一緒に学ぶ学習会、放課後等デイサービス事業所等連絡会の開催や専門家による相談活動、障害学生支援の取り組みなど幅広く活動しています。「連携」を合言葉につながりを広げています。



阪神北障害者就業・生活支援センター

国・県の委託事業として、全国の障害保健福祉圏域ごとに設置されている事業で、阪神北圏域(伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町)にお住いの障害のある方で、「就職されている方」「働きたい」と考えておられる方の支援をしています。

職員募集

いたみ杉の子で働きませんか？

あなたの
ライフスタイル
に合った仕事があります。

54歳からの初挑戦

柳原 昌子



54歳にして福祉の仕事に初挑戦。障がいを持つ方の支援とは一体どんなものなのか、私にできるのかと少々不安もありました。いざ働き始めると、いたみ杉の子では実に幅広い世代の方が働いておられることに気づき、「ここなら年齢を重ねても働ける」と感じました。

当初はパートで入社しましたが、丁寧に説明いただいたり、相談したりしながらだんだんと仕事を覚えられました。また、活気のある職員さんの日々の仕事ぶりを見るうちに、私も職員になりたいと思うようになり、思い切って職員採用試験を受け、この2月より職員として働いています。

私よりも若い職員さんが多いのですが、声もかけあえるいい関係が魅力です。また、毎日利用者さんの頑張られる姿やその笑顔に、なんともいえない喜びとやりがいを感じています。そしてこの年齢でも職員になれたこと、子育てが終わった後の人生に又生きがいを見出せたことを嬉しく思います。利用者さんの笑顔に囲まれて、75歳まで働けぞ!!とひそかに決意しています!!

子育てとの両立

大角 里穂



私はいたみ杉の子に入職して4年目になります。入職後、結婚、妊娠し、1年ほど産休・育休をいただきました。子どもが10か月になったところに保育所が決まり復職しました。

今は、朝8時30分に出勤し、夕方子どものお迎えがあるため、毎日定時の17時30分に退勤させていただいています。

仕事は生活介護事業所で支援員をしていますが、利用者さん一人一人の特性に合った日中活動を送っていただけるよう心がけつつ、利用者さんと一緒に日々楽しく働くことができている。まだ勤務年数が浅く、日々学ぶことも多くありますが、支援がうまくいった時や、利用者さんの笑顔が見られたときにはやりがいを感じています。

子どもの体調不良などで急にお休みを頂くこともありますが、いたみ杉の子には私のような子育て世代の職員が働きやすい職場づくりを進めていることも魅力だと思います。

他業種から

川部 純也



私は、相談支援専門員を目指し、相談支援事業所で相談員として勤務しております。

大学卒業後、これまで金融機関と薬局業界で働いてきました。人の話を聞いたり、相談に乗ったりすることが大好きで、多くの方と人生や今後の過ごし方、その人の夢についてご相談に乗り、提案や支援を行ってきました。

福祉の現場で働くのは初めてで日々先輩や上司からアドバイスを頂き、業務に励んでいます。また、障害分野を中心に研修の機会も多くあり、制度や専門的な学びを深めることができます。

夢や理想をいつでもお話することができ、そこへ向けて支援してくれるような相談支援専門員になれるよう日々奮闘しています!

福祉業界で働くことが初めての方でも、なんでも相談でき、学べる環境がいたみ杉の子にはあります!

専門職員としてのやりがい

福島 久美



いたみ杉の子で働き始め13年が経ちました。

それまでは、救急や急性期病棟で働き生死に関わることも多い看護人生でした。

そんな私がいたみ杉の子で働くことになり、臨床とは全く違う施設という環境で、初めは戸惑うことが多く、慣れるのに時間がかかりました。

それでも今まで働き続けられたのは、利用者さんの健康を守るという事にやりがいを感じたからかもしれません。

利用者さんそれぞれの『日常を知る』ことによって、変化に気づき、医療に繋げる橋渡しをする、そして1日でも早く回復し日常に戻ることが大切だと考えています。

施設看護師は、病院のように医療行為はほとんどありません。支援員さんが組み立てたスケジュールや支援を助ける、サポート的な役割です。利用者さんにとっては、空気のような存在でありたいと思っています。

看護師の視点で観察し予測することで、利用者さんの日常=いつも通りを守ることを日々、心がけています。

夜勤での仕事

藺崎 大輝



私はグループホームで夜勤の専任として働いています。利用者さんにとってグループホームは「住まい」であることを意識して仕事に取り組んでいます。

仕事をする中で、言葉がけや対応が利用者さんを不安にしたり不快にさせてしまうこともあると思うので、常に気を付けています。また、言葉や気持ちがあまく出ない利用者さんにどうすれば伝わるのかを考えアプローチするようにしています。その結果、利用者さんが理解され笑顔が見られたときは、この仕事をしていてよかったと感じます。

また、利用者さんが、外出や食事など日常生活を楽しんでいる様子を見るのが仕事をする上での楽しみにもなっています。業務の中で大変だと思うこともありますが、自分自身の成長を感じる事がります。

夜勤と聞くと大変な仕事をイメージしがちですが、他の職員さんのフォローや相談もでき、夜間は十分な休憩をとれるなど働きやすい環境だと思います。昼間に自分の時間が使える点も、今の生活スタイルに合った仕事だと感じています。



2020年度(令和2年度) 社会福祉法人いたみ杉の子決算概要

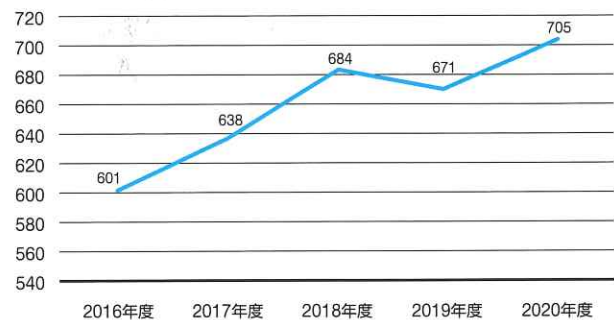
「社会福祉法人いたみ杉の子」の決算概要については、新型コロナウイルス感染拡大時期ではありましたが、利用者及び職員等において感染者が発生せず、事業においても休業等なく実施することができ、予算を上回る決算となりました。しかし、次年度以降、新規施設への設備投資や既存設備の修繕、また人材確保に伴う人件費の増額が予想されることから、引き続き、経常経費の削減や障害福祉サービス給付費の加算体制を整えていく必要があります。

2020年度事業収支

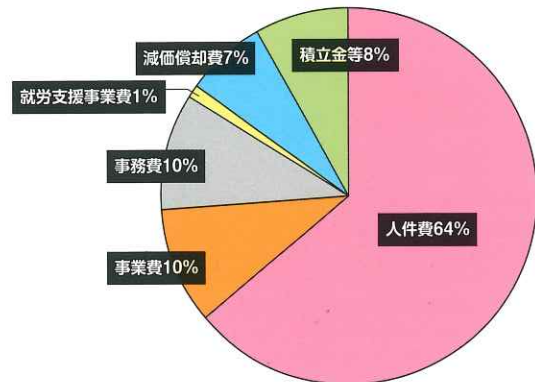
(単位:千円)

区分	費目	金額	
サービス活動	収益	就労支援事業	12,869
		障害福祉サービス等事業	788,788
		経常経費寄付金	1,010
		収益合計	802,667
	費用	人件費	511,877
		事業費	79,473
		事務費	80,383
		就労支援事業費	12,128
		減価償却費	54,659
		国庫補助等積立取崩	-38,997
費用合計	699,523		
サービス活動増減差額(1)		103,144	
サービス活動外	収益	受取利息等	187
		その他の収益	10,068
		収益合計	10,255
	費用	支払利息	340
その他の費用	9,922		
費用合計	10,262		
サービス活動外増減差額(2)		-7	
経常増減差額(3) = (1) + (2)		103,137	
特別増減	収益	施設整備費等補助	2,373
		施設整備費等寄付	1,390
		拠点区分間繰入	69,182
		サービス区分間繰入	2,501
		固定資産移管収益	4,684
		その他の収益	1
		収益合計	80,131
	費用	固定資産売却等処分	0
		国庫補助金等積立	2,987
		拠点区分間繰入	69,182
		サービス区分間繰入	2,501
		固定資産移管収益	4,684
		その他の費用	0
		費用合計	79,354
特別増減差額(4)		777	
当期活動増減差額(5) = (3) + (4)		103,914	
前期繰越活動増減差額(6)		371,683	
当期末繰越活動増減差額(7) = (5) + (6)		475,597	

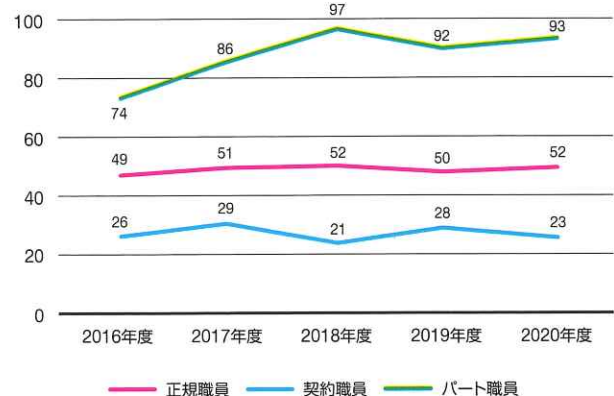
障害福祉サービス等事業収入推移 (単位:百万円)



障害福祉サービスに係る内訳 2020年度決算額(802百万円)



職員の推移 (数字は人数)



2020年度貸借対照表

(単位:千円)

	勘定科目		負債の部	勘定科目	
	金額	金額		金額	金額
資産の部	流動資産	403,687	負債の部	流動負債	86,025
	固定資産	883,765		固定負債	95,014
	その他の資産	355,911		負債合計	181,039
			純資産の部	勘定科目	金額
				資本金	168,730
				国庫補助金等特別積立	610,624
				その他積立金	257,615
				次期繰越増減差額	425,355
				純資産の部合計	1,462,324
資産の部合計	1,643,363		負債及び純資産の部	1,643,363	

いたみ杉の子の地域貢献事業 ～「発達支援連携室」の紹介～

法人では、地域支援部を中心に地域貢献事業として数多くの取り組みを実施しています。とくに「発達支援連携室」では、公開研修や放課後等デイサービス事業所等連絡会、障害学生支援にも力を入れて取り組んでいます。



伊丹市内『放課後等デイサービス事業所等連絡会』を開催します。



伊丹市内で放課後等デイサービス事業所が数多くできた2012年から、いたみ杉の子がよびかけて市のこども福祉と共催でスタートしました。年に3回、事業所の質の向上と情報共有を目的に開催し、意見交換や研修を行っています。近年は、市内約7割の事業所が参加し、教育委員会、特別支援学校、行政関係者の出席をいただき、県教委がすすめる「トライアングル・プロジェクト」事業の推進や、放課後デイの実践にかかわる研修などを行ってきました。コロナ禍で放課後デイ、児童発達支援事業の社会資源として担う役割はますます重要になってきました。これからも家庭と学校そして事業所の連携を進める上で大きな役割を果たす連絡会にしていきたいと思えます。



発達障害を含め幅広い障害者支援や研修の機会をつくります。

障害の子どもをもつ保護者を対象に支援者と共に学ぶ学習会を開催し、子育て支援の輪を広げる取り組みをしています。また、地域に広く公開しての研修もコロナ禍ということでオンライン開催も含めて年6回実施しています。講師は、大学講師や研究者、当事者の方など、各分野から多様な顔ぶれを揃えた研修を企画し、地域の事業所や法人内の支援者にたいへん好評をいただいています。

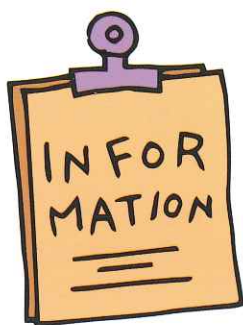
また、法人内の利用者を中心に心理士、理学療法士、言語聴覚士などの専門家による相談やカウンセリング、さらには親や支援者へのアドバイスのためのコンサルテーションも実施しています。



発達障害学生の就職支援ネットワークづくりに力を入れています。



数年前から阪神北障害者就業・生活支援センターで取り組み始めた障害学生の就職支援の活動を、昨年度から発達支援連携室の事業として取り組んでいます。大学のキャリアセンターのネットワークを活かしたセミナーを継続して開催するとともに、個別の就職支援にも取り組んでいます。さらに、昨年度末から地域の様々な支援機関や行政関係などとの連携をすすめ、2021年3月に地域ネットワーク（阪神発達障害学生就職支援ネットワーク）を結成しました。阪神北圏域に加えて阪神南圏域にも広げるとともに、大学とも連携したより広域なネットワークに広げていき、地域の力を活かした障害学生支援を本格的に進めていきたいと考えています。まさに「連携」がキーワードです。



「いたみ杉の子」では、令和2年度兵庫県共同募金会の施設臨時配分金の交付を受け、生活介護事業所「ホープゆう」の車いすとりハビリマットの配備を行いました。

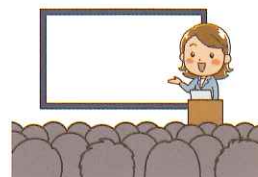
利用者の高齢化・重度化が進む状況において、利用者の外出等活動参加や健康維持活動など大変助かっています。

募金者の皆様に厚くお礼申し上げます。



- 配分額:400,000円
(事業総額506,000円)
- 事業目的:利用者の高齢化等に対応するため車いすと健康器具の整備

公開研修のご案内



■2021年度 いたみ杉の子公開研修

「ゼロから学ぶ
障害のある子ども・若者のセクシュアリティ」

- 日時:9月3日(金) 17:30~19:30
- 場所:オンラインにて開催
- 講師:伊藤修毅 氏(日本福祉大学)

「実践報告会」

- 日時:10月29日(金) 16:30~18:30
- 場所:サポートセンター・杉の子
- 講師:赤木和重 氏(神戸大学)

■親と支援者が一緒に学ぶ学習会

「将来を見通した進路を考える」
シンポジウム(仮)

- 日時:11月16日(火)予定 10:00~12:00
- 場所:伊丹市立図書館「ことば蔵」
- 講師:笹森理恵 さん(神戸市発達相談専門員)
河南 勝 氏(いたみ杉の子発達支援連携室長)

「いたみ杉の子・メルマガ」受信者募集

kouenkai@itamisuginoko.or.jp

「いたみ杉の子」では、月1~2回程度、法人の現状や公開研修等の案内などの情報をメールマガジン(メルマガ)として発信しています。このメルマガの受信を希望する方は、下記にご連絡(メール)ください。なお、メルマガはパソコンから発信しますので、スマホなどテキストデータの受信が可能なメールアドレスを登録して下さい。
<受信申込> 氏名、職業(事業所名等)などを上記のメールアドレスに送信してください。

人と つながり 未来へ 人と いっしょに 創造
人と 成長し あたらしい 夢をつくる 応援団



いたみ杉の子

いたみ杉の子では障がい者を支える職員を募集しています!!

あなたも「いたみ杉の子」で一緒に働きませんか?

詳しくは法人本部 採用担当まで。

TEL●072-777-7486 MALE●saiyo@itamisuginoko.or.jp

法人ホームページ●<http://itamisuginoko.or.jp/>

マイナビ福祉・介護●<https://mynavi-kaigo.jp/>

LINEなどもご利用ください。(右のQRコードより)



*ホームページ・FACEBOOKも
ご覧ください。

いたみ杉の子

YOUねっと30号 編集・発行
社会福祉法人いたみ杉の子

〒664-0006 伊丹市鴻池1-10-15
電話/072(777)7486 FAX/072(777)7446
e-mail/honbu@itamisuginoko.or.jp